普　及

課題名：舞鶴湾におけるマナマコ漁業の複合的資源管理手法の開発

持続的なマナマコ漁業の実現を目指して

海洋センター　問い合わせ先：研究部0772-25-3081

主な成果

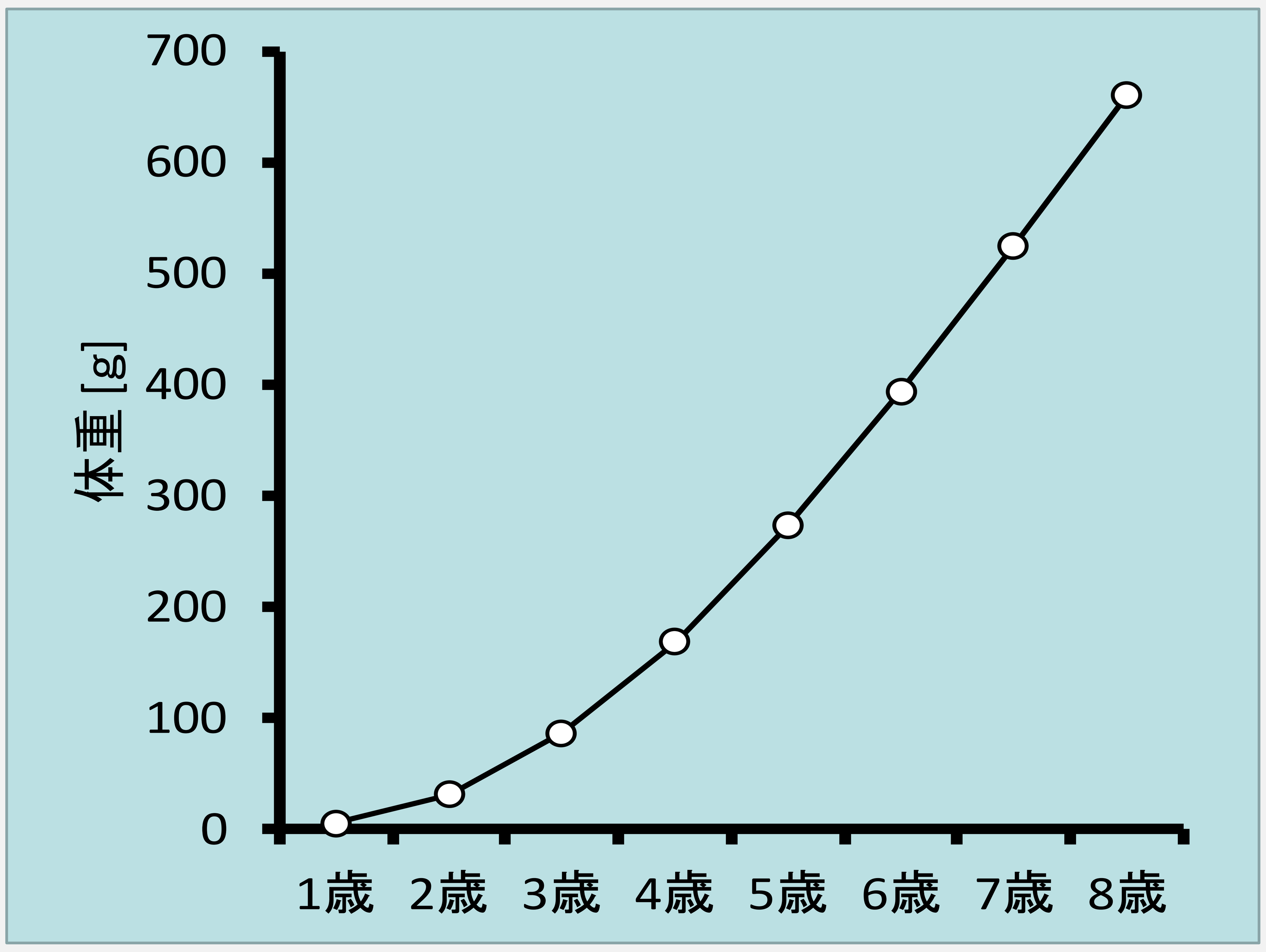
- 舞鶴湾におけるマナマコ資源の利用実態、ナマコの成長過程を明らかにしました。
- ナマコに対して営んでいる2種類の漁業（桁網、潜水）が経営を維持できる漁獲率（桁網漁業：60%、潜水漁業：20%）を明らかにしました。

● ナマコ資源の利用実態

	R元年	R2年	R3年
漁期前の資源量[t]	77	153	154
漁獲量[t]	48	81	98
漁獲率(%)	**62**	**53**	**63**

毎年、資源の50～60%を漁獲しており、漁獲圧が高い。

● ナマコの成長過程



● 持続的なナマコ漁業の実現に向けて

潜水漁場の漁獲率：66% → 20%（小型を保護）

桁網漁場の漁獲率：45% → 60%（大型を漁獲）

潜水漁業
浅場で小型個体を中心に漁獲

桁網漁業
深場で操業し
大型個体を漁獲

浅場の小さなナマコをなるべく保護

深場に移動した大きなナマコを獲る

実現に向けては・・・
- 両方の漁法：小型個体の保護
- 潜水漁業：桁網漁業への漁法転換を推奨
  （漁船、漁具の購入資金補助の検討必要）

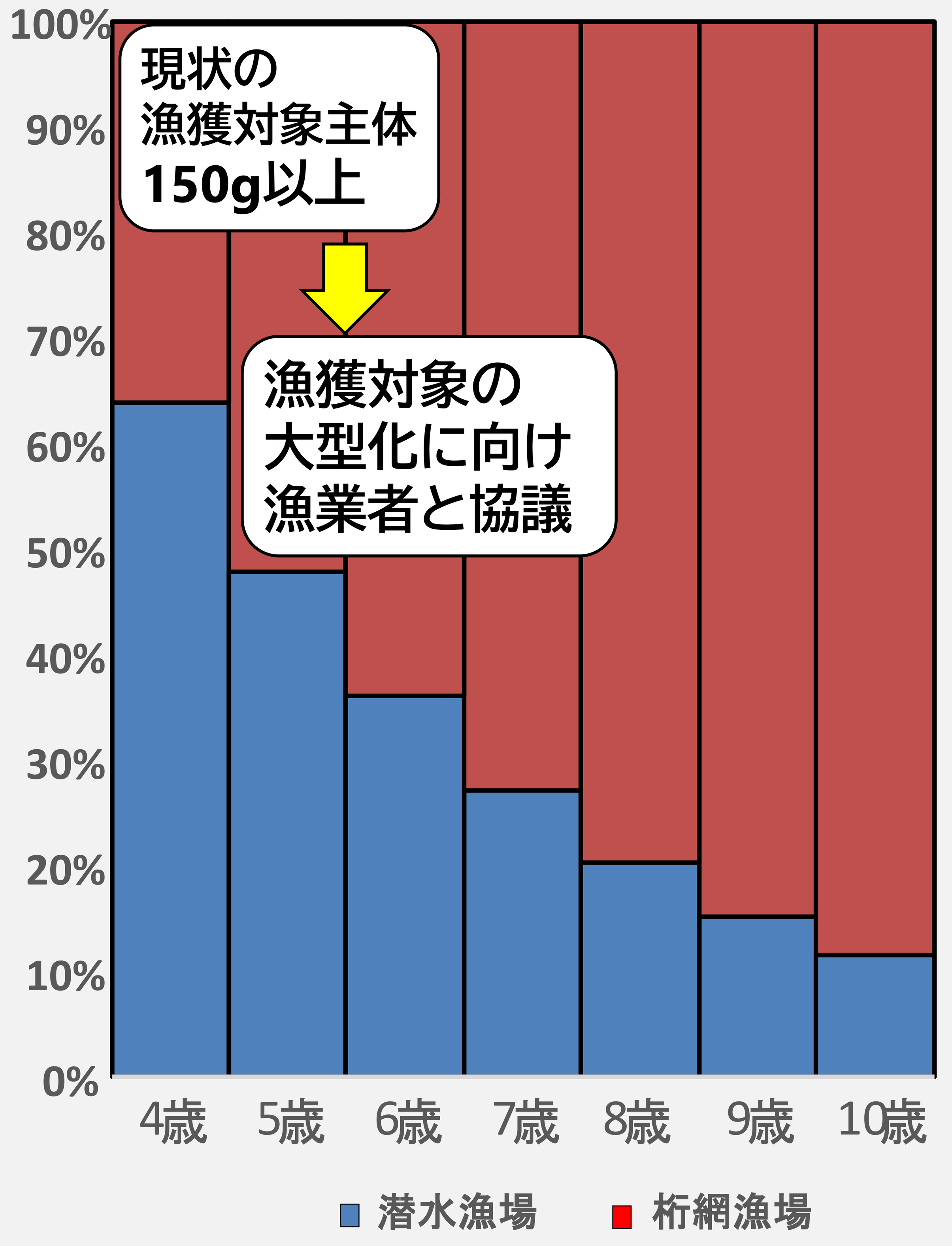


図　ナマコの潜水・桁網漁場の分布割合

期待される波及効果

小型個体を保護することで
- ナマコの資源量が増え、漁獲量も安定する
- 大型個体主体の出荷となり、単価が向上し、漁業収入も増加する